

令和6年度 学校評価(目標設定)

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	・「たくましく生きる力」を育てるため、小学部から高等部までの系統性のある教育活動の実践と教育課程の確立を図る。	①自立活動の視点を意識した個別教育計画作成と計画的な見直しを行い、授業実践への活用を進める。 ②授業改善の仕組みづくりを全校的に進める。	①「個別教育計画作成の手引き」を活用し、自立活動の視点を取り入れた個別教育計画の作成を行う。また見直し期間を設定、チームで見直し、教育活動に活かす。 ②学部、学年を中心に、単元計画を軸とした授業改善の仕組みづくりを推進し、学部経営計画に反映させる。	①「個別教育計画作成の手引き」を有効活用できたか。計画的に見直し、授業実践を行なったか。 ②学部、学年ごとに単元を軸とした授業改善の仕組みづくりが進んだか。学部経営計画に反映したか。
2 児童・生徒 指導・支援	・児童・生徒一人ひとりのコミュニケーション力の向上と自発的な行動の育成をめざし、家庭や地域とも連携した指導・支援の充実を図る。	①将来を見据え、児童・生徒の実態に合わせた自発的なコミュニケーション指導・支援を行う。 ②学校以外の場所においても、コミュニケーションツール等を活用することができる。	①個々の実態に合わせたコミュニケーションツールを授業や生活の場で活用し、コミュニケーション意欲が高まるよう環境を整える。 ②事業所や保護者に対して湘南支援ブランドの研修会等を実施する。事業所対象の学校見学を実施する。	①自発的なコミュニケーション意欲が高まる環境設定を整えることができたか。 ②事業所や保護者が、湘南支援ブランドについての理解が進んだか。
3 進路 指導・支援	・自立と社会参加をめざし、児童・生徒一人ひとりのニーズと適性に合った進路指導・支援を行う。	①社会的スキルの向上と定着に向けた取組について各学部、学年においてテーマを定め取り組む。 ②児童生徒の卒業後の生活をより具体的にイメージできるよう、進路情報を提供する。	①小学部(低学年・高学年)中学部、高等部(各学年)で、テーマと具体的な取組方法について計画を立て学期ごとに振り返りを行う。 ②学部、学年ごとに次のステージの生活や進路情報について情報発信を行う。	①学部、学年ごとのテーマに沿った指導の実践により、個々の力が身についたか。 ②本人や保護者のニーズに沿った情報提供ができたか。
4 地域等との 協働	・共生社会の実現に向け、地域との連携、協働による活動を展開し、障がいのある子どもの理解を推進する。	①地域資源を活用した学習活動の充実を図る。 ②地域の学校との交流及び共同学習を広げる。	①地域連携事業や学校運営協議会等の仕組みを活用し、地域資源を活用した学習活動を広げる。 ②各学部において「交流及び共同学習ガイド」を参考に、交流校とねらいを確認し計画、実践を行う。また、事前の打ち合わせを丁寧に行い、ねらいや位置づけについて共有して実施する。	①地域資源を活用した学習活動が広がったか。 ②共同学習の視点を持ち、学校間交流が実施できたか。
5 学校管理 学校運営	・安心・安全な学校づくりの推進のため、危機管理体制の確立を図る。 ・人権に配慮した指導支援に努め、組織的に不祥事の未然防止を図る。	①教職員個々の危機管理意識を向上させるとともに、危機管理マニュアルの見直しを進める。 ②人権尊重の視点に立ち、児童・生徒が安心して過ごせる環境づくりを推進する。	①危機発生時に有効活用できる各種マニュアルの見直し、作成を進める。名札着用の徹底をする。 ②さん付け呼称の徹底と人権に配慮した児童生徒への丁寧な言葉遣いを励行する。	①マニュアルの見直しと作成ができたか。名札着用の徹底できたか。 ②さん付け呼称や人権に配慮した丁寧な言葉遣いができたか。